

## 【妙高市】対人援助スキルアップ研修会を開催しました

上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会の対人援助スキルアップ部会では、事例検討を通して専門職のスキルアップについて学びを深めています。

R3年1月に開催した部会はZOOM開催で録画していたことから、部会での学びを多くの専門職と共有し、地域全体のスキルアップにつなげていくため、動画を活用した研修を企画しました。

○日時:令和3年11月17日(水)13時30分～15時10分

○開催方法:ZOOMによるオンライン開催

○対象者:妙高市内の介護支援専門員

○参加者:介護支援専門員29名、部会員2名、在宅医療推進センター2名

上越市1名、妙高市2名 計36名

○主催:妙高市 (開催までの経過:主任ケアマネの会に趣旨説明 →研修開催の合意を得て、市主催で開催)

○内容

- ①はじめに・流れの説明(5分)
- ②事例紹介(15分)…動画視聴
- ③グループワーク(20分)  
発表(10分)
- ④講話(30分)…動画視聴
- ⑤感想(5分)
- ⑥事例のその後、まとめ(10分)



### グループワーク(事例の感想・気づき、自分だったらどのような支援をするか)

- 本人の気持ちを考えればイライラするだろう。専門職の一生懸命さに気持ちが追い付かない。
- 病気や障がいを受け入れる途中段階。周りからのプレッシャーもある中、やらされてる感が強く、本人と共有できていない。
- 支援者側の思いが強く、本人の不安や気持ちが置いてけぼりになった。
- 問題となることに注目が集まり、良い面が見れていない。ご本人と同じ歩幅で歩くことが大切。
- まずは、ご本人の思いや不安に思っていることを聞くようにしたい。
- 最初から母親と本人をセットで考えがちだが、本人としっかり向き合うことが大事。そして、母を含めた信頼関係づくりを行う。
- 短期目標をすぐに到達できるものに設定するなど、成功体験を積み重ねていく。
- 楽しめることを一緒に考える。
- 友人や知人など、本人に関わる人を知る。
- 自分が役に立つという体験が必要なのではないか。
- 同じような年齢や障がいを持つ方とつながれる場所があればよい。



今回は5グループ(6～7人)で実施。発表は当初2つくらいと考えていましたが、様々な意見が出ており、久しぶりに顔を会わせる機会でもあるため、全グループから発表していただき共有しました。

## 事例のその後・・・

部会での事例検討後、約半年が経過したことから、その後の支援者及び利用者の様子について、小山さんからご報告いただきました。

専門職が自らの支援方法に対する「気づき」を得ることができ、接し方を見直すことで、利用者にも変化があったことを、参加者で共有しました。

～小山さん、ご参加ありがとうございました～

## 最後に

### 援助者の変化



#### <事例検討から気づいたこと>

- 利用者に様々な提案をすることが自分の役割だと思っていた。
- 無意識に、指導者对患者という立場を作っていた。
- 気持ちを引き出そうと、問いかけすぎた(しゃべりすぎ)。
- 入院時の他専門職からの情報を信じ、一般的に正しいとされる考えを選択して押し付けていた。

#### <見直した接し方>

- 利用者と接するとき、ゆったりとした気持ちでいるよう心掛けた。
- 質問を次から次へとせず、本人の言葉を待つようにした。
- 援助者の考えを押し付けるような言葉は発しないようにした。

## アンケート結果より

①研修の内容はいかがでしたか  
非常にわかりやすかった 88.5%    まあまあわかりやすかった 11.5%

②日頃の支援を振り返る機会になりましたか  
とても考える機会になった 100%

③全体を通しての満足度をお聞かせください  
とても満足 100%

研修内容は大変好評で、日頃の支援を振り返る機会となり、満足度も高い結果となりました。

④今後の業務に活かしていきたいことや感じたこと

- 信頼関係が心を開き、自らの言葉が聞けることを再認識した。今後活かせる貴重な研修だった。
- 援助と支援の考え方が印象的で、同じ立場にたちクライアントが自ら気づき、主体的に取り組めるように働きかける大切さを感じた。
- 心理的ニーズが満たされていない、という話は腑に落ちた。花の絵を用いるとその人のおかれている状況が明確になり、何が足りないかを把握しやすく、整理しやすいので活用していきたい。
- ケアマネという立場で、人として関わり、人として関係を築いていくことが一番の近道と感じた。
- クライアントの力になりたい、早く成果をだしてあげたいという思いが前のめりの支援になってしまうのかもしれない。提案の前に謙虚な問いかけを心がけたいと思う。
- GWや発表でもいろいろな視点があることを再認識できた。
- 自分では考えつかなかった視点を学ぶことができてよかった。
- リハの方とケアマネの関わりの内容が少し紹介あればよかった。

この研修は専門職に共通する関わり方についての学習であるため、研修の始めにその説明を行う必要がありました。今後研修を行う際は、研修の経緯や目的に併せて説明していくとよいと思います。

⑤動画を用いたオンライン研修に関する感想・ご意見

- 対面の良さもあるが、リモートは移動時間も節約でき皆さんの顔もよく見えてよい。
- 通信状況など問題なく、快適に動画が見れた。今の時代にあっている研修の形だと思う。
- 回線の関係かと思うが、聞き取りづらい事業所があった。

参加者がオンライン研修に少しずつ慣れてきていることもあり、改善等を求める意見はありませんでした。主催者側は安定した通信環境を準備することが必須だと思います。個々の事業所の通信環境については、このような研修が増えていくことを想定し、整備していくことが必要と思います。